1 日 時 平成30年6月25日（月）午後7時から

2 場 所 東淀川区役所 3階 304会議室

3 出席者の氏名

（東淀川区区政会議 魅力あるまちをつくろう！部会委員）

新庄 聡美議長、中井 まひる副議長、岩本 敬子委員、乗上 永枝委員、中村 由紀美委員
森田 敏広委員、山口 啓行委員

（東淀川区区政会議 他部会委員）

村富 和広委員

（東淀川区役所）

西村地域協働まちづくり担当課長、古川保健福祉課地域協働まちづくり担当課長代理、
畠山総合企画担当課長、中島企画調整担当課長、吉岡窓口サービス課長、
山田保険年金担当課長、川上総務課長代理、前田出張所長、池辺保健福祉課担当係長 他

4 委員に意見を求めた事項

議題（1）平成29年度東淀川区運営方針自己評価

（2）平成30年度東淀川区運営方針の改定について

（3）今後の取組みの方向性について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○池辺係長 皆さん、こんばんは。

それでは、定刻となりましたので、ただいまより平成30年度東淀川区区政会議第1回魅力あるまちをつくろう！部会を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しいところ、また夜間にかかわらずご出席賜りまして、まことにありがとうございます。

本日の司会を務めさせていただきます東淀川区役所保健福祉課地域協働まちづくり担当、池辺でございます。よろしく願いいたします。

初めに、地域協働まちづくり担当課長の西村よりご挨拶申し上げます。

○西村課長 皆さん、こんばんは。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして本当にありがとうございます。

ちょうど1週間前の月曜日朝7時58分に大阪北部を震源とする地震がありまして、東淀川区でも震度5強の揺れがありました。その時に新庄小学校の通学路のブロック塀が倒壊してしましまして、見守り隊の方1名が亡くなられて、もう一名が負傷されました。この件で吉村市長が6月22日に遺族を訪問しまして、「遺族の方にブロック塀の安全確保をちゃんとしてください」と市長のほうに訴えられまして、市長から、「倒壊するおそれのある民間所有のブロック塀についても撤去や建てかえの費用を補助する大阪市独自の制度を創設する」とその日に表明されたということです。こんな地震があった時に行政もいろいろと動いておるといふところですね。

さて、今回の部会では、「平成29年度運営方針自己評価」と「平成30年度運営方針の改正」について説明申し上げ、それらも含めて「今後の取り組みの方向性について」、ワークショップなどでご意見をいただく予定となっておりますので、最後までよろしくお願いしたいと思います。

私の挨拶は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○池辺係長 続きまして、委員の退任についてご報告いたします。

他部会になりますが、公募委員で教育・子育て部会の武田さんが一身上の都合により退任され、また同じく教育・子育て部会、北村さんが勤務地変更により退任されました。それに伴いまして東淀川区政会議運営要綱の定数を2名減で改正させていただきますので、ご報告させていただきます。

続きまして、本日の定足数を確認いたします。本日は5名の魅力あるまちをつくろう！部会の委員のご出席をいただいております、出席者数、委員定数9名の半数以上でありますので、この会議は有効に成立していることをご報告いたします。

また、本日、他部会より1名の委員がご出席されています。

毎回ご案内ですが、本日の議事録につきましては、区政会議の委員の定数の基準及び会議録等の公表等に関する規則の規定に基づき、発言者ごとの氏名とその発言内容を記載した議事録により後日公表させていただきますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

会議録案ができ次第、本日発言いただきました委員の皆様に発言内容をご確認いただきたいと思います。後日、文書をお送りさせていただきます。

また、本日、会場で何枚か写真を撮らせていただき、ホームページなどに掲載させていただきます。掲載に支障があるという方は、後ほど事務局にお声かけをいただきますようお願いいたします。

それでは、ここから新庄議長に進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○新庄議長 議長の新庄です。よろしくお願いいたします。

それでは、早々、議題に入ります。お手元の次第をごらんください。

議題1「平成29年度東淀川区運営方針自己評価」、議題2「平成30年度東淀川区運営方針の改定について」、議題3「今後の取組みの方向性について」、区役所より説明をお願いします。
○西村課長 地域協働まちづくり担当の西村です。

先週、郵送させていただいております資料は、きょうはご持参いただいておりますでしょうか。大丈夫ですか。

議題1について、議題1の平成29年度の東淀川区運営方針自己評価について、まず説明させていただきます。

平成29年度運営方針については、昨年度の第5回区政会議の部会で一旦年度内振り返りをさせていただいております。今回はそれ以降に変更になった点や自己評価を中心に説明させていただきます。

お送りさせていただきました資料2、この黄色の紙をご覧いただきたいと思います。

こちらのほうが概要版ということになっておりまして、この後ろについています、太いホッチキス止めの送付資料3の中から必要な事項を抜き出したものを、この2枚物にまとめさせていただきます。

資料2の概要版では、それぞれ様式2、3の後ろの紙の目標とかアウトカムが未達成の項目とか未実施の項目については下線を引いております。できなかったところがこの下線を引いてあるところですので、そこを中心に説明させていただきたいと思います。

それから、送付資料3の資料ですが、今回、追加とか修正させていただいた部分につきましては、四角と矢印でわかりやすく明示しておりますので、ご覧いただきたいと思います。

それでは、まず私のほうから関係の部分をご説明いたします。

黄色の紙で下線が引いてありますところですが、戦略1の「自助・共助を担う地域力の向上」の(1)と(2)が下線を引いています。「地域活動協議会を中心とした地域活性の支援」と、それから「地域担当制による協働のまちづくり」、それから戦略3の(1)で「区地域保健福祉計画に基づく地域の取り組み支援」、それと私が説明させていただきますのは、次のページの右の一番下のほう、様式3というのがございまして、「市政改革プラン2.0に基づく取組等」というところで、ここの取組項目の6と8と9、ここに下線がついていますので、この辺について簡単に説明させていただきます。

では、様式3のほうです。まず5ページです。

5ページのほうに取組項目1-1-1ということで、こちらのほうが達成できていないところが書いてあります。5ページの下の方に自己評価というのがありますけれども、こちらのほうをごらんいただきますと、業績目標の達成状況で①、②、③、④が②(i)と書いてありますが、これらの数字が目標値よりも低かったということで、達成できていなかったということでございます。

これにつきましては、地域活動協議会の周知とかができていなかったということで、大阪市で24区一律でアンケートをとりまして、大阪市が定めた目標値に到達していなかったということでございます。

今後、平成30年度にむけては、地活協の周知に努めていきます。それから実際にアンケートの中身もわかりにくかったところがありましたので、その辺、大阪市全体としてアンケートの修正をしていくということもあります。それから目標値についても達成できるように設定を変えていくということで、この辺の取組で平成30年度はクリアしていきたいと考えております。

それから6ページのほうです。

6ページのほう、取組の1-1-2ですけれども、こちらのほうも達成できなかったということで、自己評価のところを見ていただきますと、②地域を担当する職員のeラーニングの点数が95点以上の割合が67.7%だったんですけれども、100%に達していなかったということで、到達できなかったということでございますので、これにつきましては、地域担当者の連絡会議等の場を活用して、地活協に関する知識向上に努めてまいりたいと考えております。

それから10ページのほうですけれども、10ページの具体的取組の1-3-1でございます。こちらにつきましては、区の地域保健福祉計画を地域版で作成していくということで、目標を5地域以上で実施していこうということでしたが、実際には2地域においてワークショップとか勉強会を実施してきたんですけれども、残りの3地域については計画の機運の醸成に努めるのみで終わってしまったということでございます。平成30年度におきましては、この目標達成をするようにということで、個別に各地域活動協議会にお願いしているところでございまして、現在、新庄地域のほうが地域版の計画を策定するというところで表明していただいております。

次に、50ページをご覧ください。大分後ろのほうになります。

50ページにあります地域に根差した活動の活性化ということで、こちらの目標、地域活動の総合ポータルサイトのほうに各団体が登録をしていただくということで目標を定めておりましたが、一件も登録がなかったということで、前回の学習会のときに皆様から、例えば登録のセミナー会とか開催できないかなというご意見をいただいたところでございます。こちらのほうも我々のほうで各地域活動協議会のニーズをお聞かせいただきまして、一つずつ登録いただけるようにということで対応してまいりたいと考えております。

それから次のページ、52ページのほうをご覧くださいまして、これも95点以上が100%にならなかったということで、先ほど申しました勉強会をしっかりとしていきたいと考えております。

それから53ページですけれども、こちら下のほうの枠囲みで、地域公共人材の活用について、これも派遣型の公共人材の活用ができなかったということで、ゼロ件ということで目標達成できなかったということでございますが、当区の地域づくりアドバイザーが地域公共人材でございまして、派遣型と役割分担の整理が必要ではあるのでございますけれども、具体的な支援例

とかお示ししまして、地域活動協議会連絡会議においてその周知を行ってまいりたいと考えております。

以上、到達できなかったことにつきまして、私からの説明でした。

○畠山課長 総合企画担当課長の畠山でございます。

私のほうから、黄色の紙の経営課題5、6、様式3の部分、説明したいと思います。下線を引いている部分、まず、経営課題5の戦略1の(1)PDCAサイクルの徹底による区政運営ということで、これからは様式2の37ページから私の説明になりますので、お聞き願いたいと思います。

これにつきまして、目標値として区民の意見や東淀川区のデータを生かして事業を見直したと考える職員の割合が80%以上というところでしたが、アンケートの結果、割合が70%ということで未達成ということになっております。これにつきましては、ダイアログ等を活用しながら区民や区政会議委員意見、各種データの分析と検討を行い、事業改善を目指すほか、職員一人一人が身近な業務改善も含めて、普段からPDCAサイクルを意識した業務対応をするよう、周知徹底を行いたいと考えております。

続きまして、43ページになります。

民間活力の活用というところで、これにつきまして委託側、受託側、それぞれの市民サービス向上ができていていると感じる委託及び受託側の職員の割合85%以上ということに対しまして、委託側が66%、受託側が96%ということで目標達成できていないということになってございます。改善策といたしまして、受託事業者との連携を強化して、引き続きノウハウの共有を進めるとともに、プロセスの見える化に取り組んでまいりたいと考えてございます。

続きまして、44ページ、45ページになります。

これにつきましては、ここに掲載していますように職員力の向上というところでは、四角囲みには星2つということで、その部分については目標達成ということになってございますが、上の部分、目標達成しておらない部分、直属の上司のOJTをしてもらったであるとか、その他業務の改善を行った職員の割合という部分につきまして、未達成ということになっております。これにつきましては、OJTを実感できるための取り組みとして、組織目標やおのおの職員の役割を明確にして、コンピテンシーモデルシートやデザインシートを活用した取り組みを一層進めてまいりたいと考えております。

続きまして、45ページになります。

これにつきまして、目標達成状況ということで個人情報に係る事務処理誤りの発生件数、不適切な事務処理発生件数、職場で自由に意見が言えると感じている職員の割合ということがございますが、個人情報並びに不適切事務という部分について目標未達成ということになってございます。これについては、コンプライアンス研修やコンプライアンスニュースなど、ツール

を活用してコンプライアンスに関する考え方や方針を上司から部下に伝えるとともに、情報と意識の共有に向け、組織内の情報伝達や連携を強化するということなどに取り組んで改善していきたいと考えてございます。

続きまして、46ページになります。

これについては、国民健康保険料の収納率の向上ということで、これにつきまして市政改革プラン2.0のオール大阪のトータルとしては達成していますが、東淀川区としてはまだまだ達成できていないということで掲載しておりまして、これについても早期に財産調査や差し押さえ予告、差し押さえ等の滞納整理も徹底してまいりたいと考えておるところでございます。

続きまして、歳入の確保の部分です。これにつきまして、平成29年度の使用料収入が1,243万9,000円というところですが、これについては、参考の前年度に比べて落ちておるということで未達成ということになっておりまして、今後、歳入PTにより区役所庁舎内敷地等を活用した新たな収入源の検討実施を行ってまいりたいと考えてございます。

私からは以上でございます。

○中島課長 企画調整担当、中島でございます。

私は、様式2、9ページ、具体的取組1-2-3の区民による西部地域まちづくりの担当をしております。その自己評価の部分ですけれども、昨年度、29年度の大きな目標としましては、西部地域バリアフリーまちづくり構想を取りまとめるということをご予定としておりまして、今年3月に協議会の中でこの西部地域バリアフリーまちづくり構想の承認を得ましたので、目標どおり達成できたということで、業績目標の達成状況ということで達成できたということの自己評価となっておりますので、よろしくお願いいたします。

○西村課長 続きまして、議題2の「平成30年度東淀川区運営方針の改定について」、説明させていただきます。

今までは、平成29年度、既に終わった分の説明でしたが、今度は平成30年度である今年度、もう実施が始まっているんですけれども、さらに見直しを図ったところについて説明させていただきます。

資料は、当日配付資料1としてお配りしております「平成30年度東淀川区運営方針【改定分】」をご覧ください。

こちらのほうで、改定履歴という聞きなれない言葉がありますが、運営方針について、平成30年度も始まっていますので、本来でしたらそのまましないといけないところですが、場合によっては修正をしてもいいよということで、ただ修正したことについてはなぜ修正したかというのをちゃんとホームページとかでもわかるように残していただきます、ということで、この改定履歴というのを必ずつけることになっています。

この3点でございますが、まず1点目、地域保健福祉計画につきまして、区内の先行事例の

他地域展開や地域ごとの進捗に合わせて地域協働まちづくり担当が継続して策定支援を行うこととしたところがございますが、こちらについて1枚めくっていただいて、様式2と書いています右のページをご覧ください。

地域担当制ということで、区の職員が3人ぐらいでチームになって、課長級、係長級、係員でそれぞれの地域を決めまして地域に入っていくという制度をつくってございまして、それに取り組んできたところなんですけれども、地域保健福祉計画に取り組むこととして地域に入っていました、中身が漠然としたところもありまして、もっと明確な中身で入っていったほうが活躍できるのではないかとということで、太字で書いていますように、今年度は特に災害時における行政の役割と市民の役割を互いに共通認識することで、避難所運営委員会の早期立ち上げやきめ細やかな避難所運営を行って、避難者受け入れ業務を円滑に遂行できるように、平常時から知識の習得と地域との連携・協働を密に行い、地域防災力向上に向けた支援を行うということで、各地域で避難所開設ができるようなことを目標として、地域担当が地域に入っていくということに変えました。

実際にこの間地震があったところがございますけれども、まだ訓練がしっかりできていませんでして混乱したところもありましたけれども、この地域担当制の新たな取組として、しっかりと職員のほうも力をつけて行って、また地域のほうにも研修に入ってもらうことによりまして、いざ災害が起こったときにそれぞれの小学校ですぐに避難所が開設できるような力を持った職員になっていこうと、あるいはそういう地域の取組をしてもらおうということで、地域担当制を組みかえることになりましたので、そちらのほうをこちらに表現させてもうているところでございます。

そのほか、目標値が幾つか変わっているところでございます。その左のページ、枠囲みしてありますところでございますと、68%が72%とか、59%を65%ということで、少し目標を高く設定したところがございます。これは平成31年度に最終的な目標値があるんですけれども、そこに向けてホップ・ステップ・ジャンプということでやっっていこうとすれば、今年度の目標はちょっと低かったんではないかとということで、目標値を変更しているところでございます。

それから1枚めくっていただきまして、5-1-1のところ、枠囲みのところ、90%以上と書いてあるのを100%に直しています。これは29年度に既に100%に達しておるのにまた下げるのはおかしいかなということで、一旦100%達成したらそれは今年も同じ目標でいくということです。

それからその右のページですけれども、こちらは29年度比10%増を目指すという言葉がありますが、一体幾つなのかわかりにくいということで、具体的に数字を入れると24件ということで、24件を目指すということにしております。

それから最後のページの枠囲みのところも、72%を75%にしてございますが、これも31年度の

目標を目指すに当たりまして、72%では低いということで上げております。

ということで、平成30年度の運営方針についても少し変更させていただきましたので、報告させていただきます。

以上です。

○畠山課長 続きまして、総合企画担当課長の畠山です。

私のほうから、今後の取組みの方向性について、ご説明したいと思います。

お手元の「将来ビジョン・運営方針・地域保健福祉計画の関係について」という送付資料4をご覧くださいと思います。

これにつきましては、区の将来5年後あるべき姿はどういった姿が望ましいかということで、5年後の区政の方向性を定めた将来ビジョンということで、2017年から2021年に向けた方向性を定めております。そのビジョンの実現に向けた単年度の取組みとして、先ほどから説明しております運営方針というのを単年度で策定しているところでございます。

それと、地域保健福祉計画という部分につきましては、区政のうち地域保健福祉の関係に係る5年間の方向性を打ち出しまして、これについては将来ビジョンと理念を共有しまして取り組んでいっておるものでございます。この計画についてもそれぞれ単年度の取組みについて運営方針に反映しておるというところでございます。

その関係を踏まえた上で、具体的な内容といたしまして、将来ビジョンの第2章と第3章を抜粋したものと、東淀川区地域保健福祉計画の概要版をつけておりますので、少しご覧いただきたいと思います。

まず、「東淀川区将来ビジョン～2022年に向けて～」ということで、2017年から2021年の活動をどう2022年に向けてつなげていくという視点で策定されておまして、当部会で議論願う部分につきましては、「自助・共助を担う地域力とにぎわいのある元気なまち」、5番目の「区民の役に立つ区役所があるまち」というところについて、中心に議論をお願いしているところでございます。ほかの内容については、説明は割愛いたします。

それと、「東淀川区地域保健福祉計画の概要版」ということでご覧いただきたいと思います。

この計画につきましては、「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」のまちづくりを目指して地域福祉だけではなくて、地域保健も取り入れた東淀川区の地域保健福祉計画を策定したものとなっております。これについて「自助・共助・公助とは」というところで、ここの表にありますように、「情けは人のためならず！活動」ということで、公助・自助・共助を支援していくというところですが、公費負担という部分については増加に限界があるということで、自助・共助を広げていかざるを得ないという部分で計画をつくってございます。

見開きになっておまして、それぞれの施策の体系と課題に対する取組ということ、右側にはマトリックスで自助・共助・公助という観点とそれぞれ第1層、身近な地域、第2層、校区

等の地域、第3層、包括圏域等の地域、第4層、区全体の地域というところで、それぞれ簡単な事例を含めて掲載しているものでございます。

続いて、後ろの部分につきましては、東淀川区の地域支援システム図ということで、先ほど申しました各階層とのそれぞれのかかわり、矢印が太くなっている部分と細くなっている部分、ダイダイ色と紫色の部分がございます。これにつきましてそれぞれ区民並びに区役所とのかかわりの深さという部分で矢印の太さも変えながら図式化したものでございます。

今後の取組みということで、今現在、新庄地域や井高野地域は、昨年に続けて地域版の保健福祉計画の策定を検討されておるというところでございます。豊新地域については既に策定され、公表されているというところですので、あわせて報告しておきたいと思っております。

私からは以上でございます。

○新庄議長 ありがとうございます。

では、今ご説明いただいた議題1「29年度自己評価」、議題2「平成30年度東淀川区運営方針の改定」、議題3「将来ビジョンを踏まえた今後の取組みの方向性」の参考資料を踏まえまして、皆様から意見を賜りたいと存じます。

内容について、より活発に議論していただくために、一旦部会を休会し、ワークショップによる意見交換をしていただきたいと思います。

話し合っていたきたいテーマは3つです。「29年度自己評価に基づいた課題について」、「平成30年度東淀川区運営方針の改定」、「将来ビジョンを踏まえた今後の取組みの方向性」となります。将来ビジョンを踏まえた具体的施策の方向性についてご意見をいただきたいと思います。

いただいた意見については、8月実施予定の31年度予算事業のサマーレビューにおいて、東淀川区役所が検討する具体的施策案に生かしてもらいます。

ワークショップで議論されたご意見ややりとりをまとめ、区政会議再開後、発表していただきますのでよろしくお願いいたします。

職員の方はサポートをお願いいたします。

それでは、ここで区政会議魅力あるまちをつくろう！部会は、一時休会とさせていただきます。

8時15分ごろ再開いたします。

(休 会)

休会中の主な意見

(新たな担い手の発掘について)

- ・地域貢献したいが、働いている世代は休日で仲間内でしか集まれないのでできることが限られる。PTA等の他の団体との連携がない。何ができるか、という議論の前にその土俵にあがっていない。できるものがやればよいとなると一握りの人がすることになり、仲間内しか連絡しなくなるため、他に情報がこない状態である。
- ・豊新は保育園や介護の施設が多くある地域なので、それらの点々の活動をつなげる役割として地活が声かけて提案や協力してもらい、バザールのイベントをした。スタートは個人で活動していたボランティア活動が、地域で広げることができた。
- ・ボランティアや地域貢献をしたい、という人はいるが、実際どう参加していいかわからないという人がいる。その人たちをどう取り込んでいくか、埋もれている人をどう発掘していくか、が問題である。地域に住んでいる人以外にも広げて発掘していかないと煮詰まっていく。一部世代交代しているが、地域の役員枠で人を回していると高齢世代が多く、地域のボランティアに若い人・新しい人を取り入れて回る仕組みを作らないといけない。

- 職員 「情報が無い・時間がないがボランティアに興味がある、という人をいかに取り組むか」という課題について、運営方針に取組みを記載しているところである。埋もれている人がこうしたら発掘できるのでは、という案を引き続きご提案願いたい。

(コミュニティ回収)

- ・目的がよくわからないし、地域の方の理解が深まっているとは思えない。
- ・回収してくれない等、問題があった時にどこにいったいいかわからない。
- ・コミュニティ回収でない、契約していない業者が一部マナーの悪い集め方をしているようだ。
- ・制度が定着すると落ち着くが、出す方もわからないから、コミュニティ回収はこういう垂れ幕がある車という周知をし直した。

- 職員 地振・地活の連絡会議で説明させていただいたところであるが、環境局を中心とした支援チームがあるので説明に行くことも可能である。

回収してもらえない場合、事業者との契約なので契約違反になるので環境局に連絡とっていただきたい。

(町会単位の集団回収)

- ・町会が、時間・場所を決めて仕切っているところは財源になっている。町会が決めていないところはバラバラで分別できてない状態になっている。

(地域担当制について)

- ・従来の地域担当制の活動に加えて、災害の時の避難所開設に取り組むことになったのか。
- ・スタンスが変わったことを地域は認識しているのか。
- ・震災時の避難所開設の際、よく知っている職員の顔でなく、また連絡待ちばかりで受け身に映り心細かった。指示がなく不安な気持ちになった。

○職員 災害の時の派遣が地域担当制のメインであり、避難所開設ができる程度に日ごろから顔見知りになり地域に入り込んでいこう、というスタンスに今年度から変更した。

今まで地域担当制により職員が分野を問わずに入り込んでいたため、方向変更により急に変えにくいところもあるので、徐々にこのスタンスの変更が地域に浸透するようにしたい。

地域担当制の職員は防災について今年度2回程度しか研修をしていないので、当日不安な部分があったかもしれない。

区役所の課単位で地域を決めているので、今後は人が変わっても引き継ぎができるようにしたい。

(小学校のプールについて)

- ・小学校の屋上にプールが設置されているが、地震の際、水が入っていて大丈夫か、という声が地域であった。

○職員 避難所になる施設であり、大阪市としても耐震診断し補強しているなので、水が入った状態で地震が起こっても大丈夫な構造になっている。

(以上、休会中の主な意見)

○西村課長 新たな担い手の発掘については、みんな忙しいし、大変なのにそんな人がどこにいるのという議論があったんですけども、豊新では保健福祉計画をつくる中で、実はこういうところにいらっしゃったんですよとか、こういうふうにしたらそういう人が出てくるんですよ、みたいなことを少し言っていただいて、またそんな人を見つけていかないとこれからどうしようもないというようなお話をいただきました。本当に高齢化して行って、また貧困問題とかもあって、地域貢献していただける方を見つけていかなければ本当に成り立っていかないと

いう状況で、我々、何をしていけるのか、区役所は何ができるのか、地域の方はどんなことができるのか、ということを運営方針の中で反映できたらいいなと思っています。

実際に地活協等やっている人でも、うまいことってないとか、こんなやつたらいいのとか、いうところを見ていただいて、まだまだ地活協の課題の解決に向けて、そんなちゃんとできていないよとかそんな意見があればおっしゃっていただいたら、それをまた次の運営方針に反映していきたいと考えています。

この第1章、経営課題の一番上に書いてあるのはそういうことで、今ある地域でうまいことっているだろうかと、それから若い人をどうやって引き込んでいくのかというのをどう書き込んでいくかというのがテーマになっていましたので、それが書き込めるかどうかを議論していただければありがたいかなと思います。

その他の課題についても、引き続きそういう視点で平成31年度に向けて、またお気づきのことをいろいろとおっしゃっていただいて、その中で区役所がこんなことできるというのを考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

○新庄議長 ありがとうございます。

○畠山課長 記録のほうは、ワークショップでそれぞれの委員さんから出た意見を要約させていただいて、そこはエッセンスとして先ほど西村課長が申しましたような内容を散りばめて、議事録という形をとりたいなと思っています。それでよろしいでしょうか。

今回は、部会、本会になるので、1時間程度しかございませんので、それを部会での議論という形で議長からまとめていただいた、当日、部会のほうで発表していただいて、さらに委員さんのほうで見ていってもらうという作業の後に、本会での報告というのがありますので、またそこは議長さんと連絡をとって、議長、副議長さんと連絡をとってまとめたいなと思っています。

○新庄議長 ありがとうございます。

今回の部会でいただきましたご意見を踏まえ、区役所で平成31年度事業について検討されるということです。

それでは、この辺で終わっていきたいと思いますが、最後に、今後の区政会議のスケジュールについて、事務局よりお願いいたします。

○武田係長 総務課担当係長をしています武田と申します。

当日配付資料の2をご覧ください。

区政会議スケジュールになります。第1回部会の本日の部会、6月25日、魅力ある部会が終わりまして、明日は26日、304で健康・福祉部会がごございます。7月5日木曜日は、6月20日予定だった安全・安心部会を延期しまして7月5日にしております。その下、空白になってごございますが、本日メールで送らせていただいたとおり、7月9日月曜日、7時から9時、304

で教育子育て部会が決定いたしましたので、7月5日の安全・安心部会と7月9日の教育子育て部会について、魅力あるまちをつくろう！部会の方でご参加いただける方は申し訳ございませんが、6月28日木曜日までにメールご返送いただきますようお願いいたします。

その下にいきまして、第2回部会が7月27日、301、302会議室で部会を行った後、第1回本会を区民ホールで行います。本日メールさせていただきましたが、第4回部会が10月31日水曜日に403会議室で部会を行った後、8時から9時、区民ホールで第2回本会を実施します。第6回部会に関しましては、3月19日火曜日、区民ホールで7時から8時、部会を行った後、そのまま区民ホールで本会、8時から9時で実施いたします。

第3回部会に関しましては、この後、スケジュール調整を、別途させていただきますので、お時間よろしくお願います。

○新庄議長 本日は、委員の皆様からたくさんの意見が出され、大変有意義な会議になったかと思えます。

ここからは、また進行を事務局にお返しいたします。

○池辺係長 新庄議長、ありがとうございました。

毎回ご案内をしておりますが、委員の皆様につきましては、本日の会議での議論内容を各地域活動協議会や所属の団体等でご説明いただきまして、各地域等からの意見をまたこの区政会議にフィードバックをしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、地域活動協議会の会長様には、先日同じ資料をお渡ししております。

これを持ちまして本日の区政会議魅力あるまちをつくろう！部会を閉会いたします。ありがとうございました。